

令和2年1月21日

別添6

強化委員会 中長期計画

5年後の目標	<p>我が国固有の伝統文化剣道を正しく継承し、国内外に誇れる剣道の資質・力量を兼ね備えた各層の剣士を育成・強化することを大目標とし、当委員会が展開する以下の三大事業において各目標を達成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界選手権大会に向けた強化訓練については、計画期間内に行われる1年後の18WKC、4年後の19WKCの2大会で完全優勝を達成する。 ・剣道特別選抜訓練講習会については、令和3年度復活に向け実施方法を再検討して確立し、軌道に乗せる。 ・中堅剣士講習会においては、各都道府県の中核となる剣士の養成に向けて講習内容の更なる改善、充実を図り、指導者としてより高い資質、能力を備えた剣士を輩出する。
目標に関する現状	<ul style="list-style-type: none"> ・世界選手権大会に向けた強化訓練 18WKCを見据えて基礎訓練から実践的な応用訓練へ移行している現状。令和2年度は毎月の強化合宿を計画。今後は試合稽古を取り入れ最終的な代表選手の選考に入る予定。 ・剣道特別選抜訓練講習会 現在休止中であり、令和3年度復活に向けて人数、実施回数等その実施方法について検討中。 ・中堅剣士講習会 本年度は期間を1日短縮して4日間で実施。内容が簡略化されたことで充実度に不安が残るも、期間中の講習生の体調不良や怪我は減少。
目標達成のための課題	<ul style="list-style-type: none"> ・世界選手権大会に向けた強化訓練 予算の制約の中で効果的な強化策の工夫と研究、韓国をはじめ外国チームの戦力分析（海外大会視察、遠征等）、強化選手指定及び代表選手の選考基準の明確化が課題。 ・剣道特別選抜訓練講習会 復活に向けて規模の縮小が必須。講習生と指導講師の人数、実施場所、実施回数など、経費の節減を考慮しながらも、効果的にすそ野を拡大、強化する実施方法の具体化が課題。 ・中堅剣士講習会 減少傾向にある八段取得に向けても、訓練の強度と質の面で短期間に効果を高めるため、指導委員会と協働して講習内容の精選が必要。
課題解決のための戦略及び実行計画	<p>全事業（講習会、合宿）を通じて、経費の節減を念頭に事業を計画する。特に実施場所（宿泊施設）等、安価で実施可能な施設を選定して合宿及び講習会を計画し、強化に計上された予算内で可能な限り経費を節減して、国内外視察等の経費の捻出に努めたい。</p> <p>剣道特別選抜訓練講習会についても、令和2年度の毎月の18WKC強化合宿を各地方で実施する中で、より安価で実施可能な施設を見極めながら、その適切な実施方法を強化委員会で具体化する予定である。</p>